

令和5年 男女共同参画に関する市民意識調査(アンケート)自由記述

	性別	年齢	自由意見
1	女性	60歳代	男女平等教育については、教職員自身の意識改革が必要。それぞれの地域での意識改革。 日本国において、男尊女卑の傾向が続いているのは、家庭における教育のせいだと思います。時代が変わりつつある今、男女平等に子育てをすべきだと思います。 ノーベル平和賞受賞者の「デニ・ムクウェゲ」さんの生き方、考え方は、大いに参考になるはずです！
2	女性	60歳代	まだまだ福井県は共働き家庭が多いです。 家事など男女間で軽減できるような事例や成功例の研修などいいのではないかと思います。 保育や介護の安心して預けられる場の提供と男性の理解啓発活動で不満のない生活を維持しながら女性の方も生き生きと働けると良いと思います。
3	女性	70歳代	男女共同××という言葉と数字が先行している様で無理を感じます。枠を取りはずしもっと自然体で有能な方の採用をしていったらいいのに・・・と思います。
4	女性	70歳代	今の人間社会では、性別、性的指向にかかわらず(そして年齢)みんなが楽しいと思う社会が望ましい。その為に根気よく、幼い頃より国語、算数の学習と同等に、差別のない人権学習をしてほしい。 日本だけでなく世界を見てみると、まだまだみんなが楽しいと思える世界をつくることの難しさを感じます。
5	男性	70歳代	地区自治会活動への女性参画機会を大幅に増やすようにしなければ中々前へ進まないと思います。
6	女性	50歳代	男女共同参画社会は究極的には「何人も思いやりをもって生きていける社会」の醸成につながると思っています。 男女共同参画社会の施策という枠を超えて商工、健康福祉等あらゆる分野にそのエッセンスを取り込み、平和で安心できる社会が創れるといいと感じます。
7	男性	70歳代	男女格差は無くせば良い、しかし男らしさと女らしさを無くしてはならない。家庭においては話し合い、料理が好き(得意)ならどちらがするでなく、仕事でも、力があればどちらでも構わない。 変に縛る必要はないと思います。
8	女性	20歳未満	男女で分けられるのではなく、個人で分けられる社会にしていきたいです
10	男性	20歳未満	男女平等参画を促す法律を作るべきだと思う
11	男性	30歳代	我が家は夫婦で話し合い、互いにとって最適な役割分担をしている結果、家事などは女性が多くして、男性は外での仕事をメインにしました。 しかしそのような回答の選択肢がなくて、そもそも質問の仕方と回答の選択肢がおかしい。このような誘導的なアンケートで回答させても何も捉えられないので、 この結果をもって何かを言う事は絶対にしないでください。
12	男性	70歳代	町内会の役員(区長、副区長、運営員)に女性が非常に少ないので、一定の割合で女性が入るよう町内会を指導等してほしい
13	女性	50歳代	すべての市民が所属する主たる場にて人権について学ぶ機会を作る
14	女性	50歳代	社会全体の福祉、子育て支援や介護支援などを充実する。企業も勤務体制の見直しをしてほしい。LGBTQ+の問題というより、個人が大切にされる社会になってほしい。と願っています。
15	女性	60歳代	公立小中学校に勤務していました。男女平等な職場で有難いと思い、女だからと甘えることなく精一杯勤めたつもりです。 ただ30代で中学校勤務をしていた時には、男性と同じであることを自分に課したため、かなりの無理をし、我が子を犠牲にしてしまったという後悔が今もあります。 管理職になってからは、教育界の男性優先社会に直面し、驚き失望しました。戦う気力はもはや無く結局身を引きました。同じ思いの女性は多いのではないかと思います。 中学校の教員社会はいまだに男性社会で、女性は大変働きにくい。しかし今の中学校教育に足りていないのは女性の力です。女性の働きやすい社会に変える必要があります。 また中学校の不登校の原因にはLGBTQ+がかなりありましたが、そのことなどに気づく力と余裕のある人が足りません。(私は中学校教頭を2校務めました。) 小学校勤務経験がほとんどないような男性を小学校の管理職にするなども考えられないことです。他市からは鯖江はいまだに封建的と言われています。 退職した身にとっては鯖江市は住み良くまだまだ可能性が高いと感じられることも多く、不満はありません。 しかしこれからの方々のことを考えると、男女共同参画を進めるためにはまずは教育界からの改革が必要ではないかというのが私の今の考えです。
16	女性	40歳代	男性は育児、介護ともに自分の事ではないと考えている人が多い、同じ仕事をしていても収入差が一つの理由だと思う 働いているのだから、家の事はしなくていいと思っている傾向にあると思います 女性の収入を上げて欲しいです
17	女性	40歳代	生物学的に出産の役割は分担できない面があるので、育児休暇や職場復帰についてカバーできる雇用体制が必要。迷惑がかかる構造をなくさないと、少子化や男性の育児参加は困難。
18	女性	30歳代	特別視しないこと、干渉しないことが平等の第一歩かと思います。たくさんの人と関われる機会が何より大切と考えます。開けた社会になることが理想です。
19	女性	30歳代	是非どんな人でも安心して暮らせる社会にしていきたいです。
20	女性	40歳代	具体的にどういった活動なのかがいまいちわかりづらい
21	女性	70歳代	仕事上の男女共同参画は、企業の意識が必要。便宜上男女を分ける必要がある時がある。小さい子供に教えるのは難しく、意識に個人差が大きと思う。
22	女性	40歳代	出産は、女性しかできない。それに伴って休暇を取る必要があり、そうすると職場では必然的に仕事に制限が出ることはやむを得ない。今行われている制度で充分。 管理職になるには、経験値を重ね、あらゆる批判を浴びても強い意志と心を持たねば務まらず、これらを重ね備えられるのは、特性として男性の方が得意分野であると思うので、 管理職を必ずしも男女同数にしようとする必要はないと思う。 しかし、どこか男女一人ずつ似たような能力を持った人がいると、男性を選ぶ雰囲気はある。 共働きで、家事は夫がよく手つだってくれるが、妻の方が実勤務時間が長いにも関わらず、食事やトイレ掃除は女性。と嫌なことや必ず避けられない家事はしないなど、家事は夫婦ですというより、夫は手伝いをたくさんしてあげようという感覚になっている。 男性の意識変革が必要である。 学校では、男女平等であるため、若い人の感覚ではだいぶ解消されつつあるが、地区の中は、伝統が重んじられているので男性が中心に活動している。 会社や学校が変革しても生活の場はなかなか変えられない。
23	女性	40歳代	男女が平等になりつつあるといったニュースや報道を見かけて、認識が広がっているのかな？と思われがちですが、実際はまだまだ女性が弱者に感じます(特に地方において)。 また、収入額に限らず父子家庭にも母子家庭同様の制度を受けられるような体制が整うことも必要なのではと思うこともあります。 またジェンダー・セクシャリティにおいても、まだまだ認識が不足していると考えます。 仕事において、私当人はあまり優遇さを感じたことはありません。共働き家庭においては、収入が多いのでという理由が、すべての家庭に当てはまるものでは決してありません。 収入では足りないほどの支出をかかえている家庭もあると認識しています。

24	女性	50歳代	性別や年齢などに関係なくそれぞれの個人に寄り添う 人に優しい社会になればいいと思います。 みながりやがいをもって明るく元気に生活できる社会づくりを希望します
25	男性	30歳代	自身は30代です。自分たちの親世代(60代)を見ていると家庭内の役割で母親の負担が大きかったように思います。 現在夫婦と子ども2人の4人家族です。自分は両親と違って家庭内の役割を平等にしたいと思っています。 しかし、妻の家事のやり方が分からなかったり、こだわりがあったりと家庭内の役割を平等にするのが難しいです(料理の味付けや掃除の方法など)。 家庭内の家事分担をしたいと思っていても実際うまくできなかったり、妻が納得いくクオリティでなかったりと現実的に難しいです(学生や一人暮らし時代にもう少し生活力を磨いておけば良かったと感じています…)。 今から料理など学び直すのも大切だと思っていますが、すぐには上達するものではありません。なので、女性が男性に求める家事のハードルを少しでも下げてくれる男性は家事に取り組みやすくなると思います。 男性は家事に取り組み意識と知識を身に付け、女性は男性の家事参加に対する意識を評価し、分からない様子があればやり方を伝えるなどパートナーが共に歩み寄る意識を大切にすると、より家庭内の家事分担が進み、より女性が社会進出しやすくなる環境になると思います。
26	女性	50歳代	以前と比べて、理解が進んで来たという実感がある。ドラマなどでも当たり前のように描かれるようになった。
27	女性	50歳代	個人の固定観念は各家庭や地域での影響が大きいのと思います。子育ての段階から変えていく必要があると思います。まず初めに担当者が偏った意識を変えることが第一歩だと思います。
28	女性	50歳代	各種委員会や団体の役員などに女性を登用するのもいいですが、男性の意識改革を行わない限りさらに女性の負担が大きくなるばかりです。
29	男性	50歳代	学校不応の理由のひとつに、LGBTQの問題があるかもしれないという意識も教員に必要である。
30	男性	30歳代	LGBTQの支援より少子化対策の方が絶対的に優先であると考えている ・生まれ持った性を受け入れるという取り組みも必要は必ずである (LGBTQ支援≒少子化の推進とも捉えられるので) (LGBTQに一切の理解がないわけではない)
31	女性	40歳代	家事や仕事の理想の分担への回答が男女のどちらかに負担をさせる(または平等)、という項目しかないのも、ジェンダーフリーを考えていく上ではかたいのではと思います。 家族は支え合うものなので、都度やれる人がやればいいし、家事を一方が担うなら、一方は仕事を担うのもしかりかと。(ここに男女の固定観念があってはいけないが) 平等という言葉を使うと、例えば風邪の時でも当番なので料理を作らないといけなく、というような強い縛りを感じます。 学校教育におけるジェンダーレスの取り組みも、とりえず名簿や席順を男女混ぜて、女子生徒にスラックスを許可しているだけに思えます。 本当にジェンダーフリーを考えるなら、男女別の制服や頭髪の指定はあってはならず、男子生徒がスカートを履くことも、長髪を結うことも想定すべきかと。それは一部のLGBTの方に向けてではなく、当たり前にするすべての生徒に向けた発信であることが本当のジェンダーレスのように思います。 ただ性差は当然あり、いきすぎた平等への配慮はセクシャリティに対する配慮不足にもなりかねません。 女生徒が更衣室がないため廊下で着替えたり、ましてや男子生徒だからと屋外で着替えされるのは思春期の子供にとって虐待にあたります。 市内小中学校の更衣に関する調査は早急にすべきかと。 上辺だけの共同参画を唱える前に、将来を担う子どもたちが安心して通うことのできる学校作りを支援頂ければ幸いです。
32	男性	50歳代	男女お互いの考えを共有できる機会をつくる。また、権利や義務について情報を広める。
33	男性	50歳代	男女共同参画社会というと、女性の役員や管理職の数を増やせみたいな風潮になりがちで、女性というだけで能力もないのにそれらに任命される例が多く見受けられる。 本当の男女共同参画社会とは性別に関係なく個人が能力を発揮される社会だと思う。
34	女性	60歳代	男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保されることについては、問題ないと思いますが、どうしても体力や体の仕組みから、男女対等は難しい部分があると思います。 その部分を考慮しての参画となるような仕組みが必要だと思います。
35	女性	60歳代	今の若い人はジェンダー平等の意識が高いと言われますが、小さい子供への声掛け一つで、幼くてもちゃんと意識の偏見などが刷り込まれていることがあります。 常に、ジェンダーの課題を意識できるような、研修や教育が必要だと思う。 高齢者の偏見や思い込みが、家庭内で刷り込まれないように、話し合いが必要だと思います。
36	女性	60歳代	男女・年齢に関係なく、共同参画の意味をもっと討論すべき。 頭で理解しているだけの満足ではなく、実行をすべき。 共同参画制度をスタートするのに勇気がいると思うが、一人一人がそれをクリアすれば、お互いのわかまりがなくなると思う。
37	男性	60歳代	男女共同参画と男女平等を同等に扱ったり、混同しない方がよい。
38	男性	20歳代	男女共同参画社会の理念は素晴らしいものであるが、一方でその国家予算9兆円が有効に使われていないのではという懸念がメディアなどで挙がっている。 早期実現のために本当に有効な取組が出来ているのか精査し、その結果が一般にも分かりやすく公表してもらえると安心できる。
39	男性	30歳代	それぞれに得意不得意がありそれを考慮したほうがいいと思います。女性は雪かきは大変、土のう作るのも大変です。
40	男性	50歳代	何をもって実現達成とするのか、また、指標を設定することが難しいし、大変である。

41	女性	40歳代	このアンケートを通じて「ジェンダーバイアス」という言葉を初めて知ることができた。 男性は子供のころから家庭内での家事や育児の担い手となる意識で育てられておらず、大人になってから家事や育児の仕方がわからない人が多いように感じる。(何をしたらよいかわからない様子。) また、地域社会や町内会などにおいては高齢世代の中で男女差の意識が根強いと感じる。 特に、子供会は母親が主となるなど、地域活動における男女の潜在的な役割意識が強いように感じる。 男女共同参画を実現するために必要なこととしては、婚姻に限らないパートナーシップ制度の導入等により子育てを希望する人の支援制度の充実や、夫婦別姓の選択、共同親権の選択など、家族に関する社会制度や法律等において女性が自由に人生を選択できる機会が制限されている分野がまだまだ多く存在する。こういった社会制度や法整備に対する規制緩和が必要である。その為には、社会制度の充実や法整備に関わる女性の政治家を増やすことが重要であるとする。
42	男性	40歳代	誰にとっても住みやすい場所ができるとよいと思います。
43	男性	50歳代	○LGBTQ+に限らず、少数派が生活しにくい社会となっている。 ○男性と女性では体のつくりが異なることは現実である。そのことから考慮すると、トイレや更衣室等の運用の方法も検討が必要となる。
44	男性	40歳代	男女平等の考え方が誤っていると思いますので、まずはそこから考え直すべきだと思います。
45	女性	30歳代	男女共同参画社会の実現という言葉がもう古いと思います。男女だけでなく、LGBTQ+の話も交えながらみんなが参画する社会に話を広げていってほしいと思います。
46	男性	30歳代	私の周りの女性は、それほど社会的に高い地位に尽きたいと思っていない人ばかりです。そのようなことに使う時間があるなら、少しでも子どもと向き合う時間に使いたい。というような話も聞きます。 制度的に、性別問わず、それぞれにメリットがあるような形でなければ、男女共同参画はただプロ市民がやるだけで、普通の市民は参加しないというのが現状だと思います。
47	女性	20歳未満	男女共同参画社会について、言葉は知っているが、意味については詳しくわからない部分があるので、市でも研修会など学ぶ場を設けてほしいです。
48	男性	40歳代	取り上げること自体が偏見を生んでるように思う認めるなら法整備だけで十分ではないか？
49	男性	50歳代	管理職の女性登用や同一の業務を男女関係なく行うなど平等という名のもとに逆に女性の方にとってつらい状況を作っていることもあるかと思えます。 中々難しい問題ではありますが、これからの時代、男女共同参画社会という男女というフレーズを取り除き、誰もが平等で誰もがやりたいことができる社会に向かっていくことを希望します。 女性の社会進出を増やすことが本質的に共同参画社会に向かっていけるのであればそれはそれでいいと思いますが、それを皆が望んでいるか？皆が納得して平等に働いているのか？ そういったことも指標として考えていただけたらいいかと思えます。
50	男性	40歳代	男女が平等とかではなく、男性だけであっても、女性だけであっても、もちろん男女一緒であっても、性別関係なく、頑張ってる方がしっかり報われる社会にしていく取り組みの方が良いのではないかなと思います。
51	女性	30歳代	平等・不満が高まることになる。 一般に体力面・精神面ともに男性・女性が得意とする分野は異なる場合が多いので、男女の性差を理解した上で、性差をなくすという両側面からのアプローチがなければ「男女平等」の実現は不可能だと思ふ。
52	男性	50歳代	女性の登用で無理に登用率を上げるために望まない登用を行うなど、女性に対するハラスメント的な実態もあっては無いでしょうか。